

マーケットの動き（2023年6月12日～6月16日）

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

5月の米国CPI（消費者物価指数）がインフレ鈍化を示したことや、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利が据え置かれたことなどを受け、米国株式は上昇しました。FOMC後にFRB（米国連邦準備制度理事会）パウエル議長が利上げに慎重な姿勢をみせたほか、15日発表の米国雇用指標が労働需給の緩和を示したことも相場の好材料となりました。

欧州株式市場は、中国経済指標の悪化から資源関連株を中心に相場の重石となり米国に劣後しました。

投資環境見通し（2023年6月）

外国株式相場は、米国、欧州とも上値の重い展開

企業業績については、インフレ高止まりや銀行の貸出基準厳格化への警戒感から、業績見通しの引き下げに対する懸念が残ります。外国株式相場は、米国では企業業績に対する懸念に加え、年内利下げ観測の後退による金利上昇を受けて上値の重い展開を予想しています。欧州でもコア・インフレ率の高止まりからECB（欧州中央銀行）は利上げを継続する姿勢を示しており、米国市場と同様に上値の重い展開を予想しています。

	6月16日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,409.59	2.58%	7.29%	14.46%	20.26%
NYダウ	34,299.12	1.25%	3.90%	4.19%	14.61%

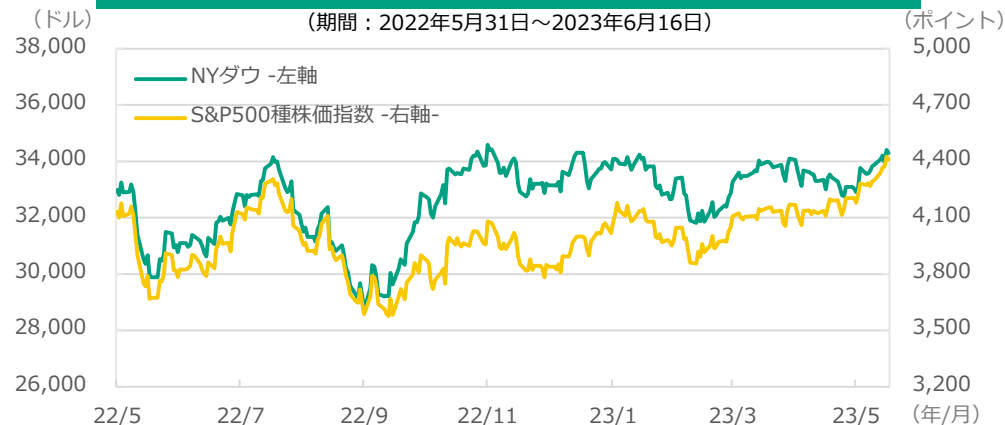
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

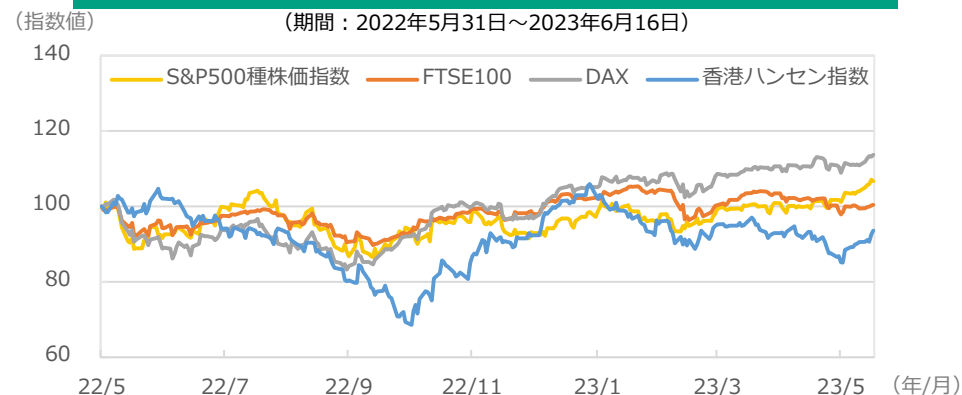
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202306_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2022年5月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成